

平成28年度第2回新宿区リサイクル清掃審議会 意見質問等

前回（第2回）でいただいた、基本計画の策定に関する主なご意見等を抜粋しました。

1 資料等について

- 審議会の予定について、具体的にどのように進めていくのか。
- 1人1日当たりのごみ量と同じように、資源も計算すると資源が1人1日何グラムで、ごみと資源の総量がどのくらい減ったか数字がわかるようなデータになっているとよい。
- 1日当たりのごみ量の分子と分母がどのようになっているのか。何でそういう数字が出てきたかということがわかると、よりこの仕組みが見えるのではないか。
- 古紙のリサイクルについて、区民が本当にどれくらい頑張ったのかという基礎数字だけはとるべきではないか。

2 取り組むべき項目等について

- 資源量を増やすというけれども、例えばプラスチックで容リブラを一生懸命やったように、紙に一回焦点を当てましょう。そういうような形で、一回徹底してやれば、いろいろなものが変わってくるのではないのか。
- 雑紙をもっとしっかり集めるということに関して、しっかりと意見交換ができればと思っている。
- 食品ロス削減のようなテーマをしっかりと今後議論していただきたい。
- 新宿エコ自慢ポイントについて、もっと制度を強調したほうがいい時期に来ているのではないか。
- 今はリサイクルの仕組みがないが、回収の機会があればみんなが持ってくるのは古着だと思っている。
- プラスチックを含めたリサイクルは、今のままでいいのか。リサイクルの効率性について、もう一回検討する余地があるのではないか。
- 燃やして熱回収することが一番効果的だということ、リサイクルは何も成り立たなくなってしまう。ゆっくりと時間をかけて皆さんと検討していったほうが良いのではないか。
- 区民の皆さんとちゃんと今どういう状況になっているのかという場を作りながら議論していったほうが良いと思う。

- 使用済み小型電子機器等をもっとしっかり集めるにはどうしたら良いかなど、意見交換ができればと思っている。
- いわゆる3R活動の普及啓発をやるような気持ちのある方が大勢育っていただくような人材育成を、もう少し系統立ってやるというのも必要なのではないか。
- 家庭ごみ有料化施策など、ごみ発生抑制手法の検討を一度きちんと話し合ってはどうか。